



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査し、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012/12/7～2018/2/28にご同意いただいた方

【研究課題名】 精神疾患における脂質メディエーター関連の髄液バイオマーカーに関する研究

【研究責任者】 竹林 実（国立病院機構 呉医療センター）

【本研究の目的及び意義】

うつ病などの精神疾患において、特定の脂質メディエーターの合成酵素の変化を患者血液でわれわれの研究室で報告している。この変化が中枢由来の変化かどうか、また、特定の脂質メディエーターがバイオマーカーとして有用かどうか、それらを明らかにするために精神疾患患者および健常者の髄液を用いて多施設共同研究で行う。

【本研究に提供している試料・情報】

髄液

【問い合わせ窓口】

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520

e-mail: biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)